

MLL Vol. 3

『本当に伝えたい韓国』 日本語／文化論

韓国の文化や思想習慣について分かり易く書いた本です。韓国は近隣国であり、松山にも多くの韓国人が、留学や仕事、旅行等で滞在しています。特に松山とソウルは直行便のフライトがあるので、双方にとって行きやすい都市の一つではないでしょうか？

さて、近くても韓国の文化や風習は日本と異なります。この本は、生活の中に根付く韓国人の習慣、歴史上の有名な人物、食生活やお勧めの韓国ドラマに至るまで幅広く紹介しています。一つ一つの解説が短く、明瞭に書かれているため、思わず内容に引き込まれてしまいます。韓国の様々な面を教えてくださいこの一冊を、是非手に取ってみてください。そして韓国について考えるきっかけにしてほしいと思います。

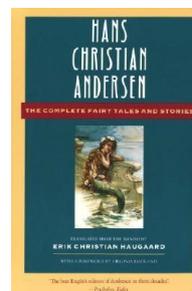
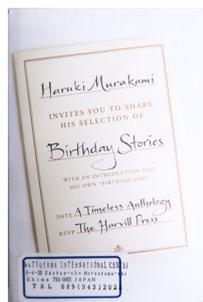


Pick
up!

『Birthday Stories』 英語／短編集

日本でも有名な小説家である村上春樹が贈る「誕生日」をテーマにした短編集です。原書は日本語で書かれています。村上春樹が選んだ欧米作家の短編小説を日本語に翻訳し、自分の短編を付け加えています。今回紹介する本はその翻訳本です。日本語版と本書を比較しながら読んでみてはいかがでしょうか？

この本のテーマとなっている「誕生日」ですが、一言で誕生日と言ってもそれぞれ思い描くものは違います。外国人作家が綴る誕生日の物語は、日本人がイメージする物語と違うかもしれません。この本を読むと、自分にとって特別な誕生日の思い出が蘇ってきます。皆さんは特別な誕生日の思い出はありますか？



『HANS CHRISTIAN ANDERSEN THE COMPLETE FAIRY TALES AND STORIES』 英語／童話

世界中で読まれているアンデルセンの物語ですが、作者アンデルセンの出身国を知っていますか？実はデンマーク出身なのです。原書はオランダ語で書かれているため、日本語訳されているアンデルセンの物語は、原作と少し異なるものがあります。また、翻訳をされている言語や国によっても結末が違ったりします。興味のある人は是非調べてみてくださいね。この英語版は原書にかなり近い形で翻訳されています。もしかしたら、貴方の知らない結末が待っているかもしれません。

『EU騒乱』 日本語／政治

戦後ヨーロッパではパリ条約が調印され、戦争の大きな要因であった天然資源を共同で管理するという発想からECSCが誕生しました。その後のリスボン条約により、名称をEU（欧州連合）とし、天然資源のみならず、経済、教育、貿易と多岐にわたる分野で、ヨーロッパは平和的な統合を目指しています。現在、EUはその理想と現実の狭間で様々な課題を抱えています。

本書は決してEUの理想を否定したり、政策を非難するものではありません。今日EUが抱えている問題を明確にした上で、今後のEUはどうしていくべきかという筆者の考えが述べられています。この本は平和とEUの思想をもう一度見つめ直すことが出来る、良い一冊だと思います。

いかがでしたか？興味のある本はありましたか？

他にもたくさん本がありますので、

是非MICの図書コーナーに足を運んでくださいね。

本の貸し出しを希望する人は登録が必要です。

1階のMICカウンターまで来てください。

お問い合わせ先

まつやま国際交流センター

〒790-0003

松山市三番町6丁目4-20コムズ1階

TEL : 089-943-2025

FAX : 089-931-2041

E-mail: mail@mic.ehime.jp